

平成 23 年度弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム概要

1. プログラムの名称

弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラム

2. プログラムの目的と特徴

本プログラムの目的は、新医師臨床研修制度の基本理念に基づき、医師としての人格の涵養に努め、幅広い基本的臨床能力を修得し、頻度の高い疾患や病態およびプライマリ・ケアに対応できる医師を育成するための初期研修を行うことである。本プログラムでは弘前大学医学部附属病院（以下弘大病院）を基幹型として、地域の臨床研修協力病院、研修協力施設と連携した臨床研修を行う。卒後臨床研修センターおよびセンター運営委員会がプログラムの管理・運営を行い、定期的に研修の進捗状況を確認すると共に、各病院および施設とも密な連携を保つ。

3. プログラム責任者

総括責任者：花田 勝美（病院長）

卒後臨床研修センター長：加藤 博之（総合診療部，教授）

プログラムA：大沢 弘（総合診療部，副部長）

プログラムB：中村 典雄（循環器内科，講師）

プログラムC：菊池 淳宏（神経精神科，講師）

プログラムD：鳴海 俊治（消化器外科，講師）

プログラムE：藤田 浩史（小児科，助教）

プログラムF：尾崎 浩士（産科婦人科，准教授）

4. 募集定員：44名

5. プログラムの概要

○特徴

—大学病院、研修協力病院・施設それぞれの長所を生かした多様なプログラムで、研修の深さと幅、どちらも充実。

—現場に出る前には参加者体験型のオリエンテーションを実施。終了時にはシステム手帳版の研修医手帳を配布。

- 研修医の希望に応じて弘大病院の指導医の中から“メンター”を指名し、弘大病院での研修はメンターの指導のもとにスタートすることが可能。(メンター候補については別紙参照)
- 各科のプライマリ・ケアをテーマとした定期的なレクチャーを開催。あすからすぐに役立つ即戦的な実力を養う。
- 優秀な研修医に対し、年度末に「ベスト研修医賞」や「優秀研修医賞」を贈呈。
- アメリカ心臓協会公認の心肺蘇生講習会 (Healthcare Provider (BLS) コース、ACLS コース) 等の受講料補助あり (平成 18～21 年度実績：全額)。
- 学会出張旅費の補助制度あり。
- EBM の実践に欠かせないツール “Up To Date” のフリーアクセス権を提供 (購読料を 2 年間にわたり補助)

○各プログラム定員 (今後、厚生労働省の指示により変更される場合がある)

プログラム A 定員 10 名

プログラム B 定員 12 名

プログラム C 定員 12 名

プログラム D 定員 6 名

プログラム E 「小児科コース」 定員 2 名

プログラム F 「産婦人科コース」 定員 2 名

各プログラムの内容及び研修協力病院、研修協力施設については、卒後臨床研修プログラム広報「君の未来がここにある！」8～17 ページ及び 23 ページをご参照下さい。弘前大学医学部附属病院卒後臨床研修センターHPにてダウンロードできます。

(<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/hospital/edpostgr/index.html>)

ご質問等ありましたら附属病院総務課人事グループ臨床研修担当までご連絡下さい。(TEL：0172-39-5178)

6. 研修の評価

- ① 研修医の自己到達度評価：オンライン臨床研修評価システム (EPOC) により自己到達度評価を各ローテーション終了時に行う。
- ② 指導医による研修医評価：各指導医はオンライン臨床研修評価システム (EPOC) により研修医の評価を行う。

- ③ コメディカルによる研修医評価：各病棟看護師長は、スタッフの意見も参考にして卒後臨床プログラム冊子別項に掲載された評価表に基づき研修医の評価を行う。
- ④ 指導医に対する評価：各ローテート毎に研修医はオンライン臨床研修評価システム（EPOC）により指導医および診療科（部）の評価を行う。
- ⑤ 研修環境（施設等）評価：各施設等における研修を終了した時点で、研修環境評価を行う。
- ⑥ プログラム評価：2年間の臨床研修終了後、該当プログラム全体の評価を行う。

注：研修協力病院・施設の一部にはオンライン臨床研修評価システムは導入されていないため、評価用紙による評価を行う。

7. 修了の認定

2年間の研修終了時に、卒後臨床研修センターおよび研修管理委員会は各研修医の研修到達度、各評価より総括的評価を行う。それを受けて病院長は修了の認定を行う。

優秀な研修医には「ベスト研修医賞」や「優秀研修医賞」が贈呈される。